



平成30年1月30日
中部地方整備局

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第3回定例会議を開催しました — 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第3回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成30年1月15日（月）10時00分～12時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 長澤 隆夫

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成29年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第3回定例会議 審議概要

開催日及び場所		平成30年1月15日(月) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員		[部会長] 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授) 林 秀弥 (大学院教授)		
審議対象期間		平成29年7月1日～平成29年9月30日		
抽出案件数		総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式		件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	別紙1-2のとおり	
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件		
	工事希望型競争入札	0 件		
	通常指名競争入札	0 件		
	随意契約	0 件		
建設コンサルタント業務等 一般競争入札		1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル		1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札		0 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問		回 答
		別紙1-3のとおり		別紙1-3のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙 1 - 2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事) 期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 名古屋港飛島ふ頭東岸壁(-15m)改良工事(その2)	港湾土木工事	5	5	8月8日	みらい・りんかい日産特定建設工事共同企業体	1,273,104	90.13	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁(W26)補修工事	港湾土木工事	1	1	9月29日	(株)おかむら	27,540	97.9	
平成29年度 三河湾海洋短波レーダー御津局設置外工事	通信設備工事	1	1	8月21日	名古屋通信工業(株)	67,176	94.6	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式) 期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 三河湾環境調査	測量・調査	6	5	9月19日	三洋テクノマリン(株)	15,228	91.8	

(簡易公募型プロポーザル方式) 期間 平成29年7月1日～平成29年9月30日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 清水港港湾機能向上方策検討業務	建設コンサルタント等	5	5	8月4日	(株)シオ政策経営研究所	13,932	91.4	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要

会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。

抽出案件	意見・質問	回答
------	-------	----

1. 一般競争入札(政府調達適用)

平成29年度 名古屋港飛島ふ頭東岸壁(-15m)改良工事(その2)	工事件名が”その2”となっているが、本工事は、一連の工事においてどのような位置付けのものか。	総延長350mの供用中の岸壁を増深及び耐震化するものであり、利用者との調整が整った区域から、予算の範囲内で順次着手することとしています。その結果、今年度における2区間目の工事となったため、”その2”としております。
	各者の入札価格が調査基準価格に近いが、どう考えるか。	比較的規模が大きい工事ということもあり、各者の受注意欲の高さの表れであると考えています。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成29年度 四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁(W26)補修工事	1者応札となった理由をどのように分析しているか。また、今後の対策は何か考えられるか。	入札説明書を入手したものの、応札に至らなかった者にヒアリングを行ったところ、技術者が確保できないため、もしくは、利幅が少ない工事であるためといった回答でした。これらを踏まえ、今後は、予算の範囲内でできるだけ大きな規模で発注する方向で検討します。
	過年度の工事内容は、本工事と同じか。	平成27年度は、鋼材の補修を加えていましたが、その他の年度についてはほぼ同様の工事内容です。
	過去の応札状況も1者応札となっている場合が多く、同じ業者が落札しているとのことだが、これまで何らかの対策を行ってきたのか。	企業に求める同種工事の実績要件を、順次緩和してきました。
本件は適正に処理された。		

3. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成29年度 三河湾 海洋短波レーダー御 津局設置外工事	過年度の応札状況は、どうであったか。	本工事と同じ者による1者応札となっています。
	海洋短波レーダーを扱うメーカーは、何社あるのか。	発注時の調査で、本邦企業で2社、外国企業で1社あることを確認しています。
	工事の発注予定を広く周知するような取組みは行っているか。	年度当初に、発注見通しとして、工事件名、発注時期、およびその発注規模をホームページ等で公表しています。
	本件は適正に処理された。	
4. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成29年度 三河湾 環境調査	落札者は、入札価格が最も低い者より技術評価点が高いため評価値で逆転した結果となっているが、どのような点を加評価したのか。	配置予定技術者の過去の平均成績点の評価が参加者のうち最も高かったこと、また、技術提案で業務実施手順の妥当性や有益な配慮事項の提案があったことが、次点の者より高い評価でした。
	本件は適正に処理された。	
5. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)		
平成29年度 清水港 港湾機能向上方策検討業務	特定された者は、評価点が他者に比べて30点程度高い結果となっているが、どのような点を評価したのか。	予定技術者の平均成績点、技術提案の重要事項の指摘、特定テーマに対する業務目的との整合性、説得力の項目において、参加者のうち最も高い評価でした。
	技術提案の評価項目のうち、特定された者の「重要事項の指摘」とはどのようなものか。	「重要事項の指摘」は、業務を的確に遂行するために参加者が提案するもので、発注者がそれを適切と判断した場合に加点評価するものです。本件において、特定された者からは、清水港を利用する企業へのヒアリングの実施に関する的確な提案があったため、加点評価しています。
	業務の規模は、予め示すのか。	プロポーザル方式においては、概算金額を入札説明書で予め提示しています。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	なし	